

高知くらしの護身術

231

パワーウィンドー

操作ロックし事故防止を

(2011年12月20日掲載原稿)

自動車のパワーウィンドーは、スイッチ操作で窓の開閉ができる装置で、ほとんどの乗用車に標準装備されています。このパワーウィンドーに指などを挟まれて骨折や切断に至る事故が起きており、首を挟まれて重体となるケースもあります。

事件事例には、同乗者が窓から手や顔を出しているときに、運転者がそれを知らずに操作し、挟まれてけがをするケースがあります。また、窓が開いている車に外から手や顔を入れていて挟まれるケースもあります。

パワーウィンドーを操作するときは、声をかけるなどして、同乗者や周囲の安全をよく確認するようにしましょう。

なお、パワーウィンドーが閉まる力は、必ずしも車の大きさに比例するものではありません。小さな車であっても、十分注意するようにしましょう。

事件事例では、10歳未満の子供がけがをするケースが圧倒的に多くみられます。また、子どもが自分でパワーウィンドーを操作したために事故にあった事例も報告されています。

子供には絶対にパワーウィンドーの操作をさせないようにしましょう。また、事故を未然に防ぐために、子どもが同乗するときは、運転席以外からの開閉操作を制限するロックスイッチを活用するとよいでしょう。

パワーウィンドーの機能や装備の状況は、車種やグレードによって異なります。取扱説明書をよく読み、しっかり理解しておきましょう。